



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

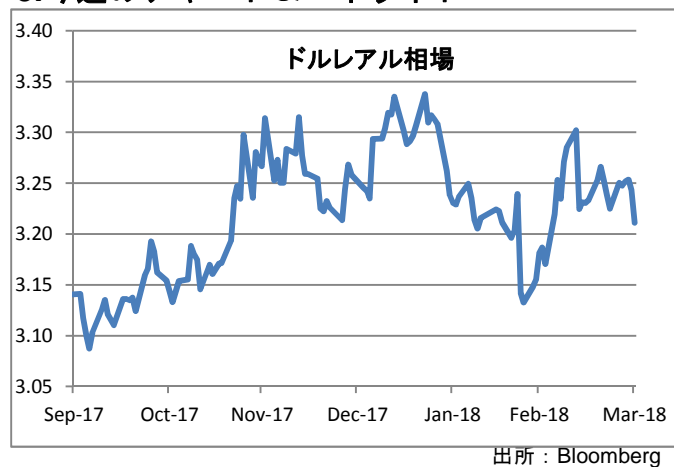
			3月23日	3月26日	3月27日	3月28日	3月29日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3120	3.3140	3.3260	3.3220	3.3060	-0.0160
	BRL/JPY	Spot	31.63	31.82	31.65	32.16	32.20	+0.04
	EUR/USD	Spot	1.2354	1.2249	1.2403	1.2308	1.2301	-0.0007
	USD/JPY	Spot	104.74	105.42	105.35	106.85	106.45	-0.40
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.238	6.226	6.241	6.231	6.225	-0.006
	Future	1Year(p.a.)	6.358	6.311	6.437	6.330	6.330	0.000
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.834	2.872	2.854	2.832	2.910	+0.078
	USD	1Year(p.a.)	3.106	3.126	3.102	3.118	3.178	+0.060
株式	Bovespa指数	84,377.19	85,087.88	83,808.06	83,874.13	85,365.56	+1,491.43	
CDS	CDS Brazil 5y	171.75	167.50	168.35	168.02	164.78	-3.25	
商品	CRB指数	196.263	195.774	195.568	194.305	195.364	+1.059	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは米中貿易摩擦を背景としたリスクオフムードから売られるも、週末にかけて買い戻される展開。
- 週初のレアルは週間高値3.2950で寄り付いた。週初にムニューシン米財務長官の楽観的な発言を受けて米中貿易摩擦を巡る懸念は一時緩和したが、その後米政府が自国の重要な技術に関わる中国からの投資に制限を設けるとの報道から懸念が再浮上。リスクオフムードが強まる中、大口の資金流出と思しきフローも見られ、レアルは週央にかけて昨年末以来の水準となる週間安値3.3440まで下落した。週後半は買い戻しが進み、金曜日の祝日前に3.3060で越週した。
- 26日に発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2018年経済成長率予想が2.83%から2.89%に上方修正され、2019年は3.00%で据え置かれた。インフレ率予想は2018年が3.63%から3.57%へ、2019年は4.20%から4.10%にそれぞれ下方修正。年末の為替レートは2018年が3.30、2019年は3.39レアルで据え置かれた。
- 27日、先週21日に開催されたCOPOM議事録が公表された。議事録では次回5月の会合で利下げ局面を終了し、利下げの効果を観察する期間を設ける旨が示唆された。しかし、先週発表された声明文と比較して大きな変化は無く、市場への影響は限られた。
- 28日に伯中銀が発表した2018年第一四半期インフレレポートでは、政策金利と為替レートの市場見通し勘案後のインフレ見通しが2018年は4.2%から3.8%、2019年は4.2%から4.1%とそれぞれ下方修正された。一方、2018年のGDP見通しに関しては+2.6%と前回の水準を維持。同日に実施されたゴールドフィン伯中銀総裁の記者会見同様、特段の新たな材料は示されなかった。

3. 今週のチャート&ハイライト



伯中銀は利下げの効果に注目

27日、先週21日に開催されたCOPOM議事録が公表された。議事録では足元の世界情勢が好感される一方、貿易に対する保護主義政策への懸念に言及。また、国内の景気回復を受けて、次回5月の会合での利下げをもって緩和サイクルを終了し、利下げの効果を観察する期間を設ける旨が示唆された。但し、引き続き今後の世界経済や国内のインフレ動向次第で追加緩和を実施する可能性も残っており、金利見通しについて市場の反応は限定的だった。29日時点で金利先物市場は次回5月会合での0.25%の追加利下げを約70%織り込んでいる。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に際して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.25－3.35

来週のレアル相場は国内材料に乏しい中、先週に引き続き3.30近辺で揉み合う展開を予想する。国外市場では引続き米中の貿易摩擦問題を巡るリスクオフムードに対する警戒感がレアルの上値を抑制すると見られる。米国では週末に3月の雇用統計が発表されるが、次回の5月FOMCでは政策金利の据え置きが見込まれている中、同指標の影響は限定的となろう。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	PPI 製造業(前月比)	--	0.34%	0.40%
ブラジル	全国失業率	12.6%	12.6%	12.2%
米	新規失業保険申請件数	230k	215k	229k
米	失業保険継続受給者数	1870k	1871k	1828k
米	個人所得	0.4%	0.4%	0.4%
米	個人支出	0.2%	0.2%	0.2%
米	PCEコア(前月比)	0.2%	0.2%	0.3%
米	ミシガン大学消費者マインド	102.0	101.4	102.0

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	4/2	貿易収支(月次)	Mar	--	\$4907m
ブラジル	4/2	FGV CPI IPC-S	Mar/31	--	0.14%
ブラジル	4/2	マーケット・ブラジルPMI製造業	Mar	--	53.2
米	4/2	マーケット米国製造業PMI	Mar	55.7	55.7
米	4/2	ISM製造業景況指数	Mar	60.0	60.8
ブラジル	4/3	鉱工業生産(前月比)	Feb	--	-2.4%
米	4/4	ADP雇用統計	Mar	205k	235k
米	4/4	耐久財受注(前月比)	Feb	--	3.1%
ブラジル	4/5	自動車生産台数	Mar	--	213480
ブラジル	4/5	自動車販売台数	Mar	--	156905
米	4/5	貿易収支	Feb	-\$56.3b	-\$56.6b
米	4/6	非農業部門雇用者数変化	Mar	187k	313k
米	4/6	失業率	Mar	4.0%	4.1%
米	4/6	平均時給(前月比)	Mar	0.2%	0.1%
米	4/6	労働参加率	Mar	--	63.0%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませ。宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。